



変革期を 読む

●●●

キーマンに聞く

新型コロナウイルスと闘ってきた日本企業が、コロナ後の「ニューノーマル(新しい日常)」を踏まえた戦略を練り始めた。その推進力となるのが、IoTやAI(人工知能)などのデジタル技術だ。NTTデータ経営研究所でエグゼクティブオフィサーを務める三谷慶一郎氏に、ニューノーマル時代を生き抜く企業に求められる戦略などについて聞いた。

NTTデータ経営研究所 エグゼクティブオフィサー 三谷慶一郎氏



NTTデータ経営研究所
エグゼクティブオフィサー
の三谷慶一郎氏

ニューノーマル視野に 本質的なDX加速が必要

—幅広い業種の企業に、世の中の人々は、中心の販売チャネルを經由に、ニューノーマルへの対応という課題が突き付けられている。

三谷氏 新型コロナウイルスの第2波、3波が襲ってくる恐れがあり、感染症と共存しながら企業活動を継続する道を模索するしか

幅広い業種の企業に、世の中の人々は、中心の販売チャネルを經由に、ニューノーマルへの対応という課題が突き付けられている。企業はこうして社会の変容を前に、経営戦略や情報戦略を組み合わせることが必要だ。例えば、日立製作所はニューノーマルを視野に在宅勤務を標準とした働き方を採

用する方針を発表した。国内企業は「対面・接触」による業務に意義を感じてきたが、問答無用で変わらざるを得ない局面を迎えた。

—今後注目を集めるビジネスモデルは。

三谷氏 一つが自社で商品企画・製造し、Web

読者の間に距離ができやす

者の間に距離ができやす

者の間に距離ができやす

用する方針を発表した。国内企業は「対面・接触」による業務に意義を感じてきたが、問答無用で変わらざるを得ない局面を迎えた。

—今後注目を集めるビジネスモデルは。

三谷氏 一つが自社で商品企画・製造し、Web

読者の間に距離ができやす

者の間に距離ができやす

者の間に距離ができやす